「農作業管理システム」の効果的な活用方法の検証　（根室農業改良普及センター本所／北根室支所）

背　景

【標津町の概要】

	H17	R2	R2/H17
農家戸数	178戸	139戸	78%
耕地面積	11,165ha	12,048ha	108%
1戸面積	62.7ha	86.7ha	138%

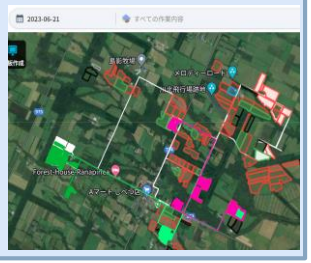
○酪農家１戸当たりの乳牛の総飼養頭数は160頭を超え（Ｒ４）、地域として維持管理が必要な草地が増えている

【地域の課題】

○地域の生産基盤の維持・有効活用（＝TMRセンター４組織を中核）

○肥料や資材等、燃油価格の高騰により草地に還元するスラリーの有効活用・ほ場管理の効率化が必要

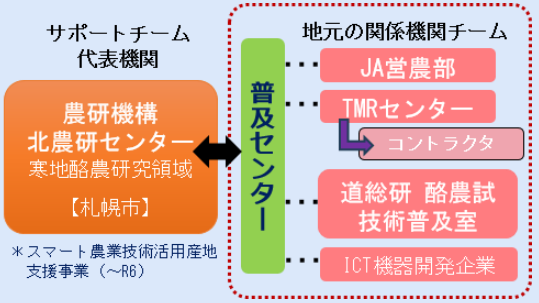
○市販のICT機器※1 を先行導入しているTMRセンター１組織をモデルとし、他の経営体に参考となるノウハウを事業を活用して整理



※1：「レポサク」（農作業管理システム）

普及活動内容

○事業代表機関と地元組織をつなぐ



○「座談会」をコーディネイト

・機器の特徴、事業の推進方向を共有

○活用方法検証に向けた調査・検討

■化学肥料施肥量の見直しに活用
⇒スラリー散布作業での積極的なレポサク利用で重複散布解消と化学肥料を低減

■ほ場間の移動、作業順序の適正化
⇒ 草地の草種構成、単収調査。特性、ほ場位置をもとにレポサクで収穫作業効率化

普及の成果

【具体的な成果】

レポサクの導入効果

○TMRセンター（農業者）の声

・スラリーの有効活用を実感した！

・車両全てに装着しても良いと感じた！

地元の関係機関で共有
代表機関サポートチームに伝達

【成果のポイント】

○初顔合わせとなった「座談会」

⇒ ICT機器導入により、作業効率化・合理的なほ場管理が可能となることが関係者に理解された

○利用場面を想定した活用の検討

⇒ 座談会であがったアイデア、活用方法を踏まえて調査項目、効果測定を設定

【今後の予定】 TMRセンターネットワーク会員を対象に「産地支援手引書」を作成・周知し、“ほ場管理情報の活用”のノウハウ提供

（連絡先：根室農業改良普及センター本所　TEL　0153-75-2301／北根室支所　TEL　0153-72-2163）